

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年 1 部 2 年	幼児と音楽表現 I	奥村たまき、小松洋子、堀内瑞枝 渡部孝太郎、樺沢宏美、横井竜陽	
サブタイトル	ピアノ演奏技術、音楽表現の基礎	単 位 数	4
授業形態	演習	1 年次・2 年次	合計で 4 単位
開講時期	2 年通年	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
① 保育者に求められるピアノの演奏技術、音楽表現の基礎を習得する。 ② 季節を感じられる子どもの歌を通して、言葉やメロディ、リズム、ハーモニーから曲調を捉え感性豊かに表現することができる。 ③ 読譜に必要な音楽理論を学習し、子どもの音楽表現活動に関わる教材等を適切に活用できる。 ④ 伴奏の基本となる「主要 3 和音」を理解し、伴奏を自由にアレンジできる。 ⑤ 表現する楽しさを実感し、幼児に伝える表現豊かなピアノ演奏ができる。 ⑥ 他者の表現を受け止め共感し、自ら学修した演奏法や音楽感覚を再確認し、より豊かな表現につなげていくことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。」ことを目指す科目である。基礎的なピアノ演奏技術を習得し、保育現場における子どもたちの音楽表現活動を支えることができる実践的な技能や音楽的感性を高めることを目指す。 また、授業の中で共に歌い、弾き、聴き、教え合う学習を通して「③豊かな人間性を身につけている。」ことも目指す。			
授 業 の 方 法			
① 1 クラスを 7 名前後の小グループに分け、それぞれ個人レッスンしながらグループで学習する。 ② 事前に練習してきた課題曲や子どもの歌、伴奏付けのレッスンを受ける。 ③ 他の学生のレッスンを聴講して参考になる事をレッスン・ノートに書き留める。 ④ 授業でアドバイスされたことを、楽譜もしくはレッスン・ノートに必ず書きとめ、次の授業に活かす。また、次週の練習計画もレッスン・ノートに立てる。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『バイエル』 音楽 I 研究室編 聖徳大学出版会 2017 年 『子どもと歌おう！〈新版〉幼児とともに』音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年 『子どもと遊ぼう！ピアノ・レパートリー』音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年 教 材：「伴奏付け」課題 「初見視奏」課題			
評 価 の 要 点			総合評価割合
1. 曲に必要とされる演奏表現ができているか否か。 2. ピアノ・レパートリー、幼児とともに、伴奏付け等の必修副課題を終了しているか否か。 3. 日々の練習にレッスン・ノートを活用しているか否か。 4. 2 年次後期に単位認定試験を実施する。			実技試験 100% 各学期の演奏発表を含む 全ての実技で評価する。
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・事前に十分な練習をしてレッスンに臨むこと。 ・試験時はフォーマルスーツまたはそれに準ずる服装（白襟付き上衣、黒か紺の下衣）を着用。 ・シラバスの進度を常に認識し、必要な練習計画を立てること。 ・授業回数（2 年通年）の 5 分の 4 以上出席しないと失格となり、1 年間の再履修となる。			

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（１部２年前期）

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス】２年次授業の概要 １年次で学んだ基礎を再確認し、今後の計画を立てる。 毎日練習することの重要性を再認識する。へ長調音階	授業概要の把握 練習計画 へ長調音階奏
2 回	シンコペーション №.56～57 幼児とともに(8 曲目) マーチ 伴奏付け課題へ長調	へ長調音階 シンコペーションのリ ズムの理解
3 回	左右のメロディー掛け合い 6 度重音奏 3 度重音奏 №.58～59 幼児とともに マーチ	6 度重音奏 左右の掛け合い
4 回	軽快なテンポ 付点音符 複前打音 変ロ長調音階 №.60～61 幼児とともに(9 曲目) マーチ 併用曲	スタッカートの軽快さ 装飾音符の奏法 変ロ長調音階奏
5 回	短前打音 腕の交差 ポジション移動 №.62 幼児とともに マーチ 併用曲(5 曲目)	左右の交差とポジショ ン移動 装飾音
6 回	〈マーチの演習〉 付点のリズムの理解 子どもの動きに即したテンポで弾く。 マーチの暗譜仕上げ、人前で止まらずに弾けるようにする。	付点のリズムの理解 マーチらしいテンポ 暗譜力
7 回	左右の速い音階 複付点音符 保持音 №.63～64 幼児とともに(10 曲目) 併用曲	拍節感 曲想の多様な変化 表現力
8 回	フレーズと付点音符 2 種類の指使いによる半音階 №.65～半音階 幼児とともに	2 オクターブの音階奏
9 回	狭い幅の順次進行 №.66 幼児とともに 併用曲 伴奏付け課題 移調	指の独立 半音階奏
10 回	グループ 1 の 1 曲目① 幼児とともに(11 曲目) マーチ	曲に求められる表現力
11 回	グループ 1 の 1 曲目② 幼児とともに マーチ	曲に求められる表現力
12 回	〈幼児とともにの演習〉 グループ 1 の 1 曲目③ 伴奏付け課題 移調	演奏時の集中力 移調する力 いろいろな伴奏形
13 回	【前期のまとめ①】 前期の学習を技術面、音楽面から復習する。 曲の完成度を上げる。	音楽表現力 演奏時の集中力
14 回	【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題 夏休み中の練習計画。	音楽表現力 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2 年間の通年科目のため、単位認定試験は 2 年次後期に実施する。	

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（１部２年後期）

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【後期ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 グループ１の２曲目①	前期までに学習した内容 理解 後期の練習計画
2 回	グループ１の２曲目② 幼児とともに(12 曲目) マーチ	拍節感 フレーズ感
3 回	グループ１の２曲目③ 幼児とともに マーチ	音楽表現力 構成力
4 回	グループ１の２曲目④ 幼児とともに(13 曲目) マーチ仕上げ	読譜力 指使いへの注意 暗譜力
5 回	〈マーチの演習〉 グループ１の３曲目① 幼児とともに	からだの移動 左右のバランス
6 回	グループ１の３曲目② 幼児とともに(14 曲目) マーチ	音楽表現力 演奏に必要な集中力
7 回	グループ１の３曲目③ 幼児とともに マーチ	読譜力 初見力 拍節感
8 回	グループ１の３曲目④ マーチ	これまでに学習したポイ ント 暗譜力
9 回	グループ１の３曲目⑤ マーチ仕上げ	これまでに学習したポイ ント 長い曲の演奏に 必要な集中力
10 回	〈マーチの演習〉 修了課題曲演習① 前半譜読み 様々な音階奏や和音奏 幼児とともに	読譜力 初見力 指使いの確認
11 回	修了課題曲演習② 後半譜読み アーティキュレーション マーチ	アーティキュレーション 表現力
12 回	修了課題曲演習③ 全体を完成させる マーチ仕上げ	技術面・音楽感覚面の総 復習
13 回	修了課題曲演習④ これまで学習した知識・技術を総合して音楽感覚を深める	音楽表現力 演奏時の集中力
14 回	修了課題曲演習⑤ 修了試験に向けての総仕上げ	音楽表現力 演奏時の集中力
試験	単位認定試験を評価の要点に基づき実施する。	